算数科　小学校 5年

単元名「分数」（たし算とひき算）
啓林館「わくわく算数5上」

単元の流れ（13時間）

【第１時】
主な学習内容
　ジュースの量の大小比較を通して、等しい分数のつくり方とその性質について理解する。

【第２時】
主な学習内容
　約分の意味を知り、約分の仕方についてまとめる。

【第３時】
主な学習内容
　通分の意味を知り、通分の仕方についてまとめる。

【第４時】
主な学習内容
　通分の手際よい方法に気付き、通分についての理解を深める。

【第５時】
主な学習内容
　異分母分数のたし算の意味を理解し、計算する。

「活用」の力の育成のために
（ポイント②③）
通分等の既習内容の根拠を示して、説明させる。

【第６時】
主な学習内容
　異分母分数のひき算の意味を理解し、計算する。

「活用」の力の育成のために
（ポイント②③）
通分等の既習内容の根拠を示して、説明させる。

単元目標
○問分数の相当、大小の比べ方の考えを用いて、異分母分数の加減計算をする。

単元構成の意図

　本単元では、約分と通分を理解させ、異分母の加法・減法を扱う。しかし、分子どうしや分母どうしで加減をしてしまうことが考えられる。同じ分母にしないと計算できないことも含め、分数の確かな概念理解と計算の手法の定着という意味で、約分→通分→異分母分数の加減という単元構成としている。
　また、新学習指導要領の先行実施に伴い、第６学年に仮分数・帯分数の計算(３つの分数の加減の計算等)が追加されることになった。約分や通分等の既習内容を想起し活用させながら、分数の加法・減法についての理解を一層深めていきたい。
　自分の考えをもち、グループや全体での集団解決の場で表現する機会を設け、適切に表現することを重点においた単元構成とした。

「活用」の力を育てるポイント

①児童の生活や経験に基づいた場面設定をすることで、問題場面を的確に読み取る力を付けさせる。
②問題設定を工夫することで、既習事項や既習内容を適切に活用できる力を付けさせる。
③自分の考えや解決方法など、根拠を示して説明する力を育てるために、グループや全体協議の場を多く設定する。

【第７時】
主な学習内容
　計算結果を約分する分数のたし算・ひき算を計算する。

【第８時】
主な学習内容
　練習問題（たしかめ道場・プリント）を解く。

【第９時】
主な学習内容
　帯分数どうしのたし算・ひき算を、既習事項から考えて解く。

「活用」の力育成のために
既習内容（通分）の根拠を示した説明をさせる。また、自力解決場面を設定し複数の計算方法を考えさせ、グループ協議させる。（ポイント②③）

【第１０時】
主な学習内容
　帯分数どうしのたし算や異分母分数の大小比較などの既習事項を活用して道のりくらべをする。（本時）

「活用」の力育成のために
「道のりくらべ」という場面設定をすることで、既習内容を活用し考えさせるとともに、根拠を示した説明をさせる。（ポイント①③）

【第１１時】
主な学習内容
　３つの分数の計算を、既習事項から考えて解く。

【第１２時】
主な学習内容
練習問題をする。

【第１３時】
主な学習内容
評価テストをする。

HOME　本時の流れへ　評価問題 CLICK